

主の御名を賛美します。

『わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。』

(詩篇 103:2)

いつも石巻宣教のためにお祈りくださり、御支援頂いておりますことを心から感謝致します。朝晩は涼しい海風の吹く渡波も夏本番となり、蒸し暑くなりました。

ほんの少し前まで、お茶っこ会では、「寒暖差に体がついていけないですね」と話していましたが、今は「熱中症に気を付けましょう」になりました。

最近、私が痛感していることは、『若い時にまことの創造者を知ることが、いかに重要なことであるか』です。この地の方々と接する中で「あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。わざわざの日が来ないうちに、また『何の喜びもない』と言う年月が近づく前に。(伝道者の書 12:1)」のみことばの重さを、改めて感じる場面に数多く出会います。

私は「人は、如何に生きるべきか」また「人は死後、どこに行くのか」ということを、誰もが考え、探し求めている、と信じて疑わなかったのですが、まことの神様、創造主を知らない世界では、そうではない現実が根深くあることを知らされています。今この瞬間だけを充実させて生きる、という刹那的な考えや「諦め」が深く浸透している故であると感じられます。これはこの地域だけの問題ではなく、日本全体の問題なのかもしれません。

価値観の変化が目まぐるしい中であって、まことの希望をもたらすことができるのは、イエス・キリストの福音だけである、と強く感じます。

仏教文化が、葬儀に関することだけではなく、日常生活にいかにか深く染み込んでいるのか、自分の無知を突き付けられ、信仰が問われる日々ですが、「福音」をじっくりと考える良い時なのかもしれません。

主の成さることに何一つ無駄はなく、すべて主の御手の中にあることを感謝しつつ、聖霊に導かれながら歩んで行きたいと願っています。



ふくいん 石巻福音自由教会

すべて無料です

夏祭り

手品&ハーブ演奏

夏祭り
がまだ石巻見るとは！
漫談・手品・ハーブ演奏
聖書のお話し、
ビンゴ大会もあります。
お楽しみに！

今年、「手品」をお楽しみください。

楽しい歌をみんなでお楽しみしよう！

8/22(木)

開場:午前11時30分
開演:午後12時~

ビンゴ

石巻焼きそば

石巻福音自由教会
教 師:高橋勝義
石巻市三和町6-3
0225(25)1705

大人もこども、おじいちゃんもおばあちゃんもぜひみなさんでお出かけください。

【祈りの課題】

1. 主が、まことの神を求めの方々を起こして下さり、礼拝につながりますように。
2. イエス・キリストを信じ、救われる魂が起こされますように。
3. 月二回(第一水曜日と第三金曜日)の「お茶っこ会」が用いられますように。
4. 8月22日(木)の「夏祭り」が用いられますように。

石巻福音自由教会
KAS サマーチャペルコンサート

江間章子作詞 中田喜直作曲	「夏の思い出」
石田邦彦作詞 和泉耕二作曲	「石巻・わがふる里」
荒木とよひさ作詞作曲	「四季の歌」
秋元 康作詞 見岳 章作曲	「川の流れるように」
モーツァルト作曲 フジル・サイ編曲	「ジャズ風トルコ行進曲」
グノー作曲	「ファウスト」より『宝石の Aria』
アイルランド民謡	「ダニーボーイ」
ハーバーク作詞 アーレン作曲	「オズの魔法使い」より『虹の彼方に』
ナター・スリース作詞作曲	「球根の中には」
ジョン・ニュートン作詞 ヘリー・ウェステンラ作曲	「アメイジング・グレイス」
	聖書のメッセージ
ステイヴ・グリーン作曲	「神だけが」

第5回 「KAS サマーチャペルコンサート」



今年も KAS サマーチャペルコンサートが開かれました。(K)桂子さん、(A)愛子さん、メッセンジャーの(S)志保先生、そして真衣さんが大阪、パリ、東京、仙台から石巻に来てくださり、渡波の方々のリクエストに応じて、懐かしい歌の数々を聞かせてくださいました。

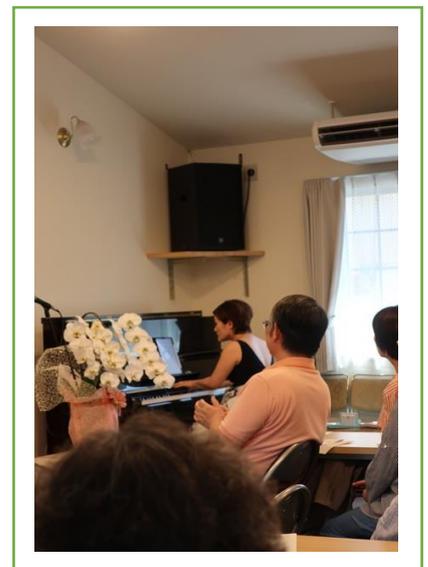
愛さんは、「このコンサートがなければ、まず演歌を歌うことはなかった」と笑顔で語っておられました。「知っている曲があれば、御一緒に歌って下さい」との勧めもあって、演歌・唱歌になると、ここぞとばかり、プロジェクターに映し出される歌詞を見ながら、皆さん元気に歌っておられました。また「四季の歌」は、ご自分の誕生季節ごとに分かれ、春・夏・秋・冬の歌詞をそれぞれが一緒に歌いました。そして、桂子さんのピアノ演奏「ジャズ風トルコ行進曲」にはいつもながら圧倒されました。

今年で五回目のコンサートですから、ほとんどの方が毎年来てくださっている方々です。そんな中で、今回は新しい方が 2 名来てくださいました。チラシを配布し、ハガキも発送しましたが 2 名の方は、今までコンサートに来られている方に誘われていらっしゃる方です。やはり、人が人を誘うことが、有効のようです。

オペラ曲はフランス語ですが、プロジェクターに日本語の歌詞が映し出され、皆さんそれを見ながら聞き入っておられました。愛あふれる演奏は渡波の方々の心をいやし、笑顔にしてくれました。そして、志保先生のお話しに続きます。

五回目となる今回はダイレクトにスタートしました。

教会に皆さんをお招きするのは、聖書が何を語っているのか知って欲しいからです。毎回違う話をしているのではなく、すべて一つの話を話しています。これ(十字架を指さしながら)



です。この意味が分かって欲しい。なぜなら、十字架が分かれば人生観が変わるからです。

これは人間をはりつけにして殺す処刑台です。誰の処刑台でしょうか？

イエス・キリストの処刑台だと思っているかもしれませんが、実はあなたの処刑台なのです。

「私は一生懸命生きて来た。」「人に迷惑をかけないように生きて来た。」「そんな悪い事はしていない。」とっておられるでしょう。

でも 神が、皆さんに求めている心は、真っ白です。

なぜなら、神ご自身が罪のない真っ白なきよらかなお方だからです…。

そして「十字架、十字架、私の十字架、十字架、十字架、主がかかされた。知らなかった、知っちゃった。十字架の秘密♪」という可愛い歌を教えてください、このままでは死ぬしかない私たちに、「ちょっと待った！」と言ってくださる唯一のお方イエス・キリストを知った人生を、次のように語られました。

(1)は～あ、よかった人生！…キリストが代わりに死んで下さったので天国に行けるからです。

(2)あいや、めんこい！…あなたのために死んで下さったほどにあなたは愛されているのです。

(3)こりゃ、おみごと！…あなたの歩んできたこれまでの様々な場面に、キリストがいたことを知る。そして、それは十字架にたどり着くためのものであって、すべては神によって守られていた、と分かるのです。まるで刺繍の裏側からは想像もつかない、しかし表には綺麗な作品が描かれているのです。

この日来場された方々が、十字架の秘密を知って、喜びの人生に変えられますように。

ぜひお祈りください。

(来場者 46名)



☆石巻宣教支援会へのご支援と、お祈りを心から感謝します。